



ゲンジボタルとヘイケボタルはどうちがうの

ホタルが飛ぶ時期がちがう

ゲンジボタルとヘイケボタルは、日本の代表的なホタルで、ほかのホタルの仲間と比べると、おたがいによく似ています。でも、調べてみると、いろいろちがいはあります。

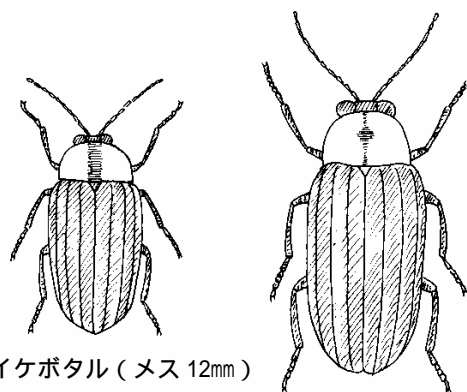
ゲンジボタルは、成虫になって光りながら飛び回るのが、5月の終わりごろから6月です。ヘイケボタルは、7～8月ごろです。飛び方も、ちょっとちがいます。暗いやみの中を、直線を引くように飛ぶのはヘイケボタル、丸みのある曲線をえがくように飛ぶのはゲンジボタルです。また、おしりの光の点めつも、ゲンジボタルは4秒に1回(関東にいるもの)ですが、ヘイケボタルは1～2秒に1回と、ちょっとせわしない光り方です。

体の大きさや、模様がちがう

ゲンジボタルのほうが、体の大きさが少し大きく、頭に近いほうにある赤い部分に、黒い十字形が入っています。ヘイケボタルは、赤い部分に黒で太い縦線が入っています。

ゲンジボタルは、流れのある川で、幼虫時代のえさのカワニナという貝がいる場所に発生します。ヘイケボタルは、水田や湿地で発生し、モノアラガイやサカマキガイなどを幼虫時代のえさにしています。(監修・中山 周平)

注)ゲンジボタルは、東日本と西日本にすむものでは、光の点めつ時間がちがうことがわかっています。



ヘイケボタル(メス 12mm)

ゲンジボタル(メス 17mm)

